



## 2023年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年4月28日

上場会社名 ホウライ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 9679 URL <https://www.horai-kk.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 寺本 敏之  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務企画部長 (氏名) 三野 眞 TEL 03-6810-8117  
 四半期報告書提出予定日 2023年5月1日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年9月期第2四半期の業績 (2022年10月1日～2023年3月31日)

#### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期第2四半期	2,377	8.0	191	47.8	313	11.9	233	19.6
2022年9月期第2四半期	2,201	△7.2	129	△30.8	280	10.1	195	0.7

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年9月期第2四半期	167.42	—
2022年9月期第2四半期	139.92	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年9月期第2四半期	18,489	8,777	47.5
2022年9月期	18,877	8,596	45.5

(参考) 自己資本 2023年9月期第2四半期 8,777百万円 2022年9月期 8,596百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年9月期	—	0.00	—	55.00	55.00
2023年9月期	—	0.00	—	—	—
2023年9月期 (予想)	—	—	—	55.00	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年9月期の業績予想 (2022年10月1日～2023年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,200	5.3	500	12.7	630	△7.7	420	△10.8	300.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年9月期2Q	1,404,000株	2022年9月期	1,404,000株
② 期末自己株式数	2023年9月期2Q	7,879株	2022年9月期	7,859株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年9月期2Q	1,396,136株	2022年9月期2Q	1,396,223株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	5
(継続企業の前提に関する注記) .....	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	5

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に関してウィズコロナの新たな段階への移行が進められ、個人消費、企業収益ともに緩やかな持ち直しが見られた一方、世界的な金融引締めが続く中で欧米の一部金融機関の破綻等、海外景気の下振れがわが国の景気を下押しするリスクとなり、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等から、不透明な状況が続きました。

このような状況下、当社は各事業がそれぞれの特性に応じた施策の推進に努めました。

当第2四半期累計期間の経営成績は、営業収益につきましては、不動産事業、千本松牧場、ゴルフ事業は前年同期を上回りましたが、保険事業は前年同期を下回り、全体での営業収益は2,377百万円（前年同期比175百万円増）と前年同期比増収となりました。

営業総利益につきましては、千本松牧場、ゴルフ事業は前年同期を上回りましたが、保険事業、不動産事業は前年同期を下回り、全体では500百万円（前年同期比59百万円増）と前年同期比増益となりました。一般管理費は308百万円（前年同期比1百万円減）と前年同期を下回り、営業利益は191百万円（前年同期比61百万円増）と前年同期比増益となりました。営業外収益にゴルフ会員権消却益122百万円（前年同期比30百万円減）を計上したことを主因に、経常利益は313百万円（前年同期比33百万円増）、四半期純利益は233百万円（前年同期比38百万円増）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりです。

#### ①保険事業

お客様とのリレーションを深めつつ、様々なリスクマネジメントのご要望に応じた保険商品の提案を行う等、お客様に寄り添ったコンサルティングを推進しました。営業収益は、生命保険分野は新たなご契約を数多くいただき増加しましたが、損害保険分野は更改を迎える契約の減少を主因に減少し、全体で568百万円（前年同期比7百万円減）となりました。営業原価は人件費増加を主因に前年同期を上回り、営業総利益は189百万円（前年同期比12百万円減）となりました。

#### ②不動産事業

所有不動産の入居率はほぼ満室状態で安定的に推移し、営業収益は607百万円（前年同期比4百万円増）となりました。営業原価は水道光熱費の増加に加え、省エネ型空調機器への更新等により前年同期を上回り、営業総利益は370百万円（前年同期比12百万円減）となりました。

#### ③千本松牧場

新型コロナウイルス感染症が収束に向かう中、各種メディアを通じた牧場プロモーションの継続や全国旅行支援の効果等により、観光施設へのご来場者数は前年同期を上回りました。施設内では、旬のいちごを前面に打ち出したプロモーションやウォールアート装飾、売店でのイベントスペース活用等で、引き続きご来場者様に安全安心にお楽しみいただける牧場作りに努め、観光施設は前年同期比増収となりました。また2月には、ジョイフル本田千葉ニュータウン店（千葉県印西市）にソフトクリームショップを新たにオープンし、多くのお客様からご好評をいただいております。外販営業は地元量販店、ギフト商社向けが伸長し、前年同期比増収となりました。酪農は搾乳牛の累計頭数、搾乳量ともに増加し、前年同期比増収となりました。

この結果、営業収益は全体で857百万円（前年同期比131百万円増）となりました。営業原価は変動費の増加を主因に前年同期比増加し、営業総損失は11百万円（前年同期比62百万円改善）となりました。

#### ④ゴルフ事業

ご来場者様から高い評価をいただいているコースコンディションの維持・向上に引き続き努めるとともに、魅力ある冬季料金プランのご案内、プレー前日宿泊プランのご提供、LINE・メール・Instagram等による積極的な情報発信やプレープランのご案内、女性インフルエンサーを招致してのInstagram掲載等で、より多くの方にご来場いただけるよう努めました。また、お客様に寄り添った丁寧・適切な接客への取組み、従来以上にお楽しみいただける食事のご提供を目指してのレストラン運営業者の変更等で、ご来場者様により一層ご満足いただけるよう注力いたしました。

この結果、ご来場者数は前年同期を上回り、営業収益は343百万円（前年同期比47百万円増）となりました。営業原価は引続き経費の抑制に取り組んだものの、ご来場者数増加に伴う変動費の増加及び料金高騰による光熱費の大幅な増加により前年同期を上回り、営業総損失は48百万円（前年同期比22百万円改善）となりました。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年9月30日)	当第2四半期会計期間 (2023年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,300,082	2,957,042
受取手形及び売掛金	350,075	308,930
商品及び製品	109,875	99,600
仕掛品	6,337	32,814
原材料及び貯蔵品	53,079	58,053
その他	111,032	119,779
貸倒引当金	△89	△94
流動資産合計	3,930,395	3,576,127
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	3,666,332	3,643,774
土地	8,266,772	8,266,772
その他(純額)	1,843,677	1,848,682
有形固定資産合計	13,776,781	13,759,228
無形固定資産		
投資その他の資産	22,317	20,136
その他	1,171,134	1,156,818
貸倒引当金	△23,000	△23,000
投資その他の資産合計	1,148,134	1,133,818
固定資産合計	14,947,233	14,913,182
資産合計	18,877,628	18,489,310
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	114,231	107,781
未払法人税等	157,791	82,229
1年内返済予定の長期借入金	100,000	100,000
引当金	92,751	54,779
その他	790,292	657,560
流動負債合計	1,255,066	1,002,350
固定負債		
長期預り保証金	5,975,826	5,755,706
長期借入金	2,700,000	2,650,000
引当金	136,510	107,280
資産除去債務	98,777	99,253
その他	114,817	97,468
固定負債合計	9,025,930	8,709,707
負債合計	10,280,997	9,712,058
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,340,550	4,340,550
資本剰余金	527,052	527,052
利益剰余金	3,540,912	3,697,862
自己株式	△19,325	△19,384
株主資本合計	8,389,189	8,546,080
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	207,441	231,171
評価・換算差額等合計	207,441	231,171
純資産合計	8,596,631	8,777,251
負債純資産合計	18,877,628	18,489,310

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)
営業収益	2,201,936	2,377,398
営業原価	1,761,546	1,877,173
営業総利益	440,390	500,224
一般管理費	310,944	308,958
営業利益	129,446	191,266
営業外収益		
受取利息	20	18
受取配当金	3,468	7,753
会員権消却益	152,370	122,075
その他	13,964	17,019
営業外収益合計	169,823	146,867
営業外費用		
支払利息	15,333	14,855
乳牛除売却損	1,928	8,422
その他	1,984	1,620
営業外費用合計	19,246	24,898
経常利益	280,023	313,235
特別利益		
固定資産売却益	—	12,290
特別利益合計	—	12,290
特別損失		
固定資産除売却損	563	8,023
特別損失合計	563	8,023
税引前四半期純利益	279,460	317,501
法人税、住民税及び事業税	38,933	60,354
法人税等調整額	45,166	23,409
法人税等合計	84,099	83,764
四半期純利益	195,360	233,737

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。